

平和のつくりかた

～ミサイルか 9条か～

講演：伊藤 千尋 さん

プロフィール

1949年、山口県生まれ、東大法学部卒。学生時代にキューバでサトウキビ刈り国際ボランティア、東大「ジブシー」調査探検隊長として東欧を調査。74年、朝日新聞に入社しサンパウロ支局長、バルセロナ支局長、ロサンゼルス支局長を歴任するなど主に国際問題を報道した。2014年9月退職し、現在はフリーの国際ジャーナリスト。NGO「コスタリカ平和の会」共同代表。「九条の会」世話人。世界82カ国の現地取材をもとに、憲法を活かす「活憲」を提唱している。

著書に『9条を活かす日本～15%が社会を変える』『連帯の時代ーコロナ禍と格差社会からの再生』、『活憲の時代～コスタリカから9条へ』など多数。公式HPは<https://www.itochihiro.com/>



コンサート：ひふみ れい さん

プロフィール

奈良県生まれ。奈良県在住。表現者ギルド「夢歩行虚構団」構成員。関西を中心に、ステージシンガーとしてピアノ弾き語りでライブハウスやカフェ等で活動。同時に集会歌手としても、大小問わず様々な集いで、プロテストソングやメッセージソングを演奏。ジャンルにとらわれず幅広いレパートリーを持つ。俳優でもあり、年齢・性別を越えて、様々な役を演ずる。2022年12月にファーストアルバム「歌を持たない」をリリース。ライブ会場や通販で入手可能。



とき：5月3日(祝)(憲法記念日)

14時00分～ (開場13時30分、終了予定16時40分)

ところ：大垣市情報工房スィンクホール

入場無料(協賛金募集) ※託児については事前にご相談下さい。

～平和・人権・民主主義を考える西濃憲法集会2023への呼びかけ～

「新しい戦前になるんじゃないですかね」

昨年末、あるテレビ番組に出演したタモリ氏が「来年はどんな年になりそう？」と聞かれて、こう答えました。

昨年12月16日、岸田首相は、安全保障関連三文書を閣議決定しました。自ら安全保障政策の大転換というおとりに、これまで政府が堅持すると言ってきた「専守防衛」をかなぐり捨て、反撃能力（敵基地攻撃能力）の保有を可能とするものであり、そのために防衛予算を5年間で4.3兆円とするという、まさに大軍拡というほかありません。

今日の事態は、2012年の第2次安倍内閣の発足から始まったと言えます。特定秘密保護法（2013年）、集団的自衛権行使容認の閣議決定（2014年）、安全保障関連法（2015年）、共謀罪法（2017年）、重要土地調査規制法（2021年）、経済安保法（2022年）と「戦争ができる国」になるための法律が続々と制定されました。そして、今回の安保三文書によって、実際に戦争をする体制を作り上げることが可能となったのです。

安保三文書は、「我が国は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している。」と述べていますが、本当にそうでしょうか。中国、北朝鮮、ロシアが日本の脅威だとされていますが、冷静に考えれば、そうではないと思います。むしろ、アメリカと一体となって、アメリカの行う戦争に日本が巻き込まれていく危険性の方が高いといえます。

ロシアによるウクライナ侵略を見て、戦争が起こるかも知れないという雰囲気を感じている方が増えているのではないのでしょうか。そのようなとき、私たちを守ってくれるのはミサイルなどの軍事力なのではないのでしょうか。否、それはむしろ戦争の危険性を高めていくものです。日本は、憲法9条の精神により、世界平和に貢献していくべきです。それが日本ができることでもあり、期待されていることです。21世紀の平和をどうやったら作っていけるのかと一緒に考えていきませんか。



会場（大垣市小野4丁目35-10 TEL 0584-75-7000）

＜協賛金のお願い＞

「西濃憲法集会」は、毎年入場無料で開催し、運営費用は、運動の主旨に賛同して下さる多くの個人や団体の協賛金でまかっています。多くの方に、ご参加・ご協力（協賛、運営への協力、参加よびかけ）下さいますようお願いいたします。（1口1000円、複数口歓迎。プログラムにお名前を載せたいと思います。匿名希望の場合はその旨を振込用紙にお書き下さい。）

【ゆうちょ銀行振替口座】

記号番号 00870-6-101487

加入者名 近藤ゆり子

「平和・人権・民主主義を考える」西濃憲法集会2023実行委員会 TEL0584-81-5105

岐阜県大垣市室町2-25 弁護士法人ぎふコラボ西濃法律事務所内

E-mail seinolaw@nifty.com